

令和6年度 第4回富里市行政改革推進審議会  
会 議 録

〔日時〕 令和6年12月23日（月）

13：30～14：10

〔場所〕 富里市役所本庁舎3階第3会議室

○出席者（順不同）

（委員） 寒郡茂樹会長、町田弘副会長、本橋幸子委員、  
石川賢治委員、浦辺隆司委員、沖田健二委員

（事務局） 鈴木課長補佐、粕谷主査、成毛主査、小澤主査

（傍聴者） なし

○次第

1 開会

2 会長あいさつ

3 議題

（1） 富里市第4次行政改革大綱素案について

（2） 第1次政策実行計画事業の外部評価の集計結果について

4 その他

5 閉会

○配布資料

- ・ 会議次第
- ・ 資料1 「富里市第4次行政改革大綱素案」
- ・ 資料2 「令和6年度富里市第4次行政改革大綱策定等スケジュール」
- ・ 資料3 「(第1次政策実行計画事業)対象事業評価シート取りまとめ一覧」

## 会議録

### 1. 開会

### 2. 会長あいさつ

### 3. 議題

#### (1) 富里市第4次行政改革大綱素案について

##### 【会長】

- ・事務局から説明を求める。

〈資料を基に事務局より説明〉

##### 【会長】

- ・それでは、1人ずつ委員の皆様から御意見等を伺いたい。

##### 【委員】

- ・地方財政が厳しい中、市民満足度の高い効率的なサービスを効果的に提供するために大綱と改革プランを一体的に編成した「第4次行政改革大綱」の素案について、良くまとまった大綱素案になっていることを評価する。
- ・本市の現状把握と分析は適正に行われていると思う。特に公債費については、令和元年度から発行額の上限を設けて将来負担の抑制を図ることにより、減少傾向となっていることを評価し今後も継続していく必要性があると感じる。
- ・大綱を趣旨として実施する改革プランでの基本方針、推進項目を職員の一人ひとりがしっかりと理解し改革プランの着実な実行が必須だと感じるため、大綱、改革プランの執行者は職員の一人ひとりであることを自覚して日々の業務に励んでいただきたい。

##### 【事務局】

- ・今後も、公債費については一定のルールに基づき、将来負担の抑制を図っていきたいと考えている。
- ・職員一人ひとりの意識付けは出来ている。委員からの御意見については、庁内で共有し、行政改革に取り組んでいきたい。

#### 【委員】

- ・市民ニーズは、複雑かつ多々あり予算の関係もあるが、市民と同じ目線で考えていただき、行政改革に対応いただきたい。

#### 【事務局】

- ・職員も、常に「市民起点」を意識している。今後も、市民起点で行政改革に取り組んでいきたい。

#### 【委員】

- ・「(2)財政・公有財産の適正な管理」は「(2)財政・公有財産の適正な管理及び運用もしくは活用」が望ましいと思われる。
- ・「個別施設計画等に基づきファシリティマネジメントの視点を」とあるが、「個別施設計画等に基づき改修等も含めファシリティマネジメントの視点を」が望ましいと思われる。
- ・市内の公共施設等の老朽化が著しいので、将来を見据え多様なニーズに対応できる複合的な施設への建替えに取り組んでほしい。
- ・「専門資格等を有する職員の計画的な確保に努めます」とあるが、「専門資格等を有する職員の計画的な確保に努めると共に業務に精通した職員の育成に努めます」が望ましいと思われる。
- ・職員の適材適所への配置、また、安定して働ける職場環境を整えることが必要と考える。

#### 【委員】

- ・基本方針2「持続的発展が可能な財政運営」とあるが、全体として、いかに歳入の確保をはかるかが非常に大事ではないかと考える。
- ・自主財源を考える上で、更なる積極的な企業誘致を推進すべきであると思う。

#### 【事務局】

- ・企業誘致の推進については、現在、都市計画法を中心とした規制緩和等で積極的に推進しており今後も引き続き推進していく。

#### 【委員】

- ・5か年計画という長期計画になっており、必要な場合は見直しを行うとなっているが、言うまでもなく変化のスピードは加速していることから、フレキシブルな対応が望まれる。
- ・(1)DXの推進によるサービスの向上・業務効率化について、DXは今後の業務に必要不可欠と認識しており、初期コストはかかるものの、

長い目で見ればサービスの向上、業務の効率化に必ずつながるものと考えているので、前向きな推進に取り組んでいただきたい。

**【事務局】**

- ・DXを積極的に進めている。順次DXを進めていき、行政のスリム化、効率化を図っていきたい。

**【委員】**

- ・人口予測について、減少傾向（自然体推計）として示されているが、空港周辺地域は空港の機能強化とともに様々に発展していく地域である。本市の人口も、過去減少と推計されながらも、実質5万人で横ばいの状況が続いている状況である。福祉施策系の計画については自然体推計でもいいと思うが、本市は空港の機能強化等を踏まえ、人口は増加していく展望でとらえるべきと考える。

**【事務局】**

- ・成田空港の機能強化が、本市の人口減少対策に特に有効な要因と考えている。行政改革においては、成田空港の機能強化を考慮した「将来展望人口」を掲げる形で見直しを検討する。  
委員の皆様からいただいた御意見については、検討した上で、庁内の推進本部会議で具体的に協議し、大綱案の修正をしていく。次回の審議会以案としてお示しさせていただく予定である。

**(2) 第1次政策実行計画事業の外部評価の集計結果について**

**【会長】**

- ・事務局から説明を求める。

〈資料を基に事務局より説明〉

**【会長】**

- ・内容を見ていただいて、何かあれば経営戦略課にお伝えいただきたい。

**4. その他**

**【委員】**

- ・DXに関係することだが、マイナンバーカードの自治体独自利用や、マイナンバーカードで住民税のみの申告が出来るよう、検討をお願い

したい。

**【事務局】**

- ・市のDXについては、DX推進計画が根幹にあるが、今後、基幹系情報システムの標準化共通化が進むと、マイナンバーカードの活用は推進されていくものと考えている。いただいた御意見は、担当課と共有する。

**5. 閉会**